

第16回

日中韓3か国地方政府交流会議

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

当会議は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、3か国における地方政府の国際交流機関（日本・自治体国際化協会、中国・中国人民対外友好協会、韓国・全国市道知事協議会）が、1999年より輪番制にて毎年開催しているものです。

今年は9月1日から4日にわたり、韓国・慶尚北道亀尾において、第16回目の会議が開催され、当協会は協力機関として携わったことから、その内容などについて紹介いたします。

第16回会議について

今回の開催地である韓国・慶尚北道亀尾市は、韓国のほぼ中央に位置し、先端産業が集積する韓国国内有数の工業都市として、現在も発展を続けている地域です。

今回の会議は、454人（日本…57人、中国…188人、韓国…209人）もの自治体関係者の参加のもと、盛大に開催されました。

本会議では、「人文交流の拡大による日中韓交流の活性化」をメインテーマとした基調講演と主旨講演、ならびに3か国地方政府間の共通課題である2つのサブテーマに関連した事例発表が行われました。

さらに、本会議後の9月3日～4日には、慶尚北道内においてテーマに沿った視察が実施されました。



基調講演の様子

主旨講演

本会議では、3か国の代表地方政府によるメインテーマに沿った主旨講演がなされました。日本からは、長崎県の里見晋副知事にご講演いただき



主旨講演の様子（長崎県）

本会議の主なプログラム

メインテーマ	『人文交流の拡大による日中韓交流の活性化』
	基調講演 高麗大学校教授 <small>チュ・グァンシク</small> 崔光植 主旨講演 日本 長崎県 副知事 里見晋 中国 浙江省義烏市 副市長 董鳳鳴 韓国 慶尚北道 政務副知事 <small>イ・インソン</small> 李仁善
サブテーマ①	『地方政府の国際行事相互参加の拡大による観光・文化交流の活性化』
	事例発表 日本 奈良県 副知事 前田努 唐津市 国際局長 小形昌和 中国 湖南省 副主任 魯華 吉林省 副主任 李冬梅 韓国 ソウル特別市西大門区庁長 <small>ムン・ソクジン</small> 文錫珍 順천시 副市長 <small>ミン・チャンファン</small> 明昌煥
サブテーマ②	『地域経済活性化のための経済通商交流の拡大』
	事例発表 日本 徳島県 副知事 熊谷幸三 鳥取県商工労働部 通商物流戦略監 吉川寿明 中国 山東省 副主任 李栄 湖南省 副主任 王自文 韓国 全州市 副市長 <small>チュウ・ボンオップ</small> 曹捧業 平澤市 市長 <small>コン・ジェグァン</small> 孔在光

ました。同県ではこれまで中国および韓国と独自の交流を続けていますが、今回の会議では、友好都市である釜山^{プサン}広域市と連携して、朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産への登録に向けた取り組みを中心に韓国・中国との交流についてご講演いただきました。

事例発表

今年は、日中韓3か国地方政府間が抱える共通課題から2つのサブテーマが設けられ、これらに基づいた事例について、各国代表の地方政府に発表いただきました。ここでは、日本より発表された4つの取り組み事例について紹介します。

サブテーマ①「地方政府の国際行事相互参加の拡大による観光・文化交流の活性化」においては、奈良県および佐賀県唐津市よりそれぞれの交流事例について発表いただきました。

奈良県からは前田努副知事より、2010年に同県で開催した「平城遷都1300年記念事業」と韓国・忠清北道^{チュンチョンブクト}で開催された「世界大百済典」の両博覧会における相互交流を機に、交流の発展・拡大に向けて機運が高まったことから、両地域間において友好提携を締結した事例について発表いただきました。

唐津市からは小形昌和国際局長より、姉妹都市である韓国・全羅南道麗水市^{チョルナムドヨス}にて、2012年に開催された「2012麗水世界博覧会」における唐津くんち・七番曳山「飛龍」の披露や、同年、唐津市で開催した「唐津市・麗水市姉妹都市締結30周年記念式典」における市民ぐるみでの相互交流について発表いただきました。

サブテーマ②「地域経済活性化のための経済通商交流の拡大」においては、徳島県と鳥取県より、それぞれの取り組みについて発表いただきました。

徳島県からは熊谷幸三副知事より、同県が外国

人の誘客に向けて推進している医療観光に係る取り組みについて発表いただきました。同県では、県民総ぐるみで糖尿病対策に取り組んでおり、糖尿病検診の受診や県産食材を活用した健康食ディナーを観光メニューとしたモニターツアーの取り組みなどについてご説明いただきました。

鳥取県からは吉川寿明通商物流戦略監より、韓国および中国を含む北東アジアの経済交流に係る取り組みについて発表いただきました。具体的には同県境港から韓国・東海港を経由しロシアや中国までの国際航路の開設や、北東アジア^{カンウォンド}地域の先端科学技術交流の発展に向け韓国江原道および中国吉林省と共に取り組んでいる「北東アジア産業技術フォーラム」についてご説明いただきました。

会議では日本側の発表内容についても積極的に質問や意見が飛び交ったことから、中国、韓国の地方政府関係者から大変興味を持っていただけたことと思います。

また、本会議終了後には「交流の広場」が設けられ、各国地方政府間において既存の交流の拡大や発展に向けた意見交換、ならびに新たな交流に向けた情報交換などが行われました。

まとめ

日本・中国・韓国は地理的にも近接していることから、古くから人と文化の交流が盛んに行われてきました。今回の会議では、メインテーマに「人文交流」が掲げられており、現在多様化している国際交流の根底には、古来の人と文化の交流が脈々と流れていることを再認識しました。

日中・日韓関係が難しいと言われている昨今、今回の会議で取り上げられたような地域固有の文化や資源を生かした草の根レベルでの交流や協力の拡大・発展が、地域の活性化だけでなく、日中・日韓関係の改善に大きく貢献することを期待します。

「第17回日中韓3か国地方政府交流会議」は中国・浙江省義烏市にて開催されます。

2015年度の会議は、中国・浙江省義烏市において開催されます。次回会議に関する情報は随時、当協会のホームページなどにてご案内します。

日中韓3か国の地域間交流と協力を深める絶好の機会であるこの会議にぜひご参加ください。